



みんなで守ろう内灘海岸
(第22回 海浜美化清掃)



UCHINADA

gikai@town.uchinada.ishikawa.jp
<http://www.town.uchinada.ishikawa.jp>

うちなだ

議会だより

定例会議案審議 2

特別委員会委員決まる 4

常任委員会レポート 6

一般質問 -8人が登壇- 8

Vol.74

平成15年 [2003]
7月30日発行

〒920-0292
☎076-286-6715
石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1
発行：内灘町議会
責任者：議長 中川 達
編集：議会広報対策特別委員会

6月

定例議会

16日 ~ 25日

第4分団(宮坂)

2年連続県大会へ出場

平成15年度一般会計・特別会計の補正予算、契約の締結、条例の改正、人事案件など15議案を審議し、すべて可決・承認しました。町政一般質問では8人が登壇し、町長の考えをただしました。議員提案による意見書2件を可決し、請願・陳情は1件を採択しました。

一般会計

平成15年度予算において、1億1千125万円を追加し、予算総額を75億1千125万円にしました。

(賛成16人) (反対1人)

主な歳出

企画関連では、金沢ケーブルテレビで放映する番組制作に63万円計上しました。テーマは河北潟と砂丘フェスティバルに関するものです。

防災関連では、町消防団第4分団(宮坂)の昨年に続く県消防操法大会出場経費として125万円を補正しました。

福祉関連では、障害者施策に関する計画策定に68万2千円、保健センターの空調設備および窓ガラスの修繕に60万円、それぞれ補正

しました。

農業関連では、内灘揚水機場ポンプ用電動機を420万円で修繕します。

公園整備として、蓮湖渚公園整備の土地購入に3千78万円補正しました。

教育関係では、

西荒屋小学校屋上の防水改修として、1千300万円を計上しました。

特別会計

環境問題の啓蒙のため、風車の仕様、特徴および環境負荷の低減効果等を取りまとめた視察・研修用のビデオ、パンフレットを210万円で作成します。

(全員賛成)



充実されたパソコン教室

契約

大根布小学校並びに、西
荒屋小学校に96台のパーソ
ナルコンピュータを2千793
万円で購入しました。納入
は8月末。

(全員賛成)

西荒屋・室地区汚水幹線
建設工事を7千665万円で契
約しました。

(全員賛成)

風力発電所建設工事で、
電気室上屋の追加等で943万
円増の変更契約をしました。

(全員賛成)

改正された条例

●関係省令の一部改正に伴
い、半島振興対策実施地域
における固定資産税の特例
について、適用期限を2年
間延長する等、条例を改正
しました。

(全員賛成)

●地方税法等の一部改正に
伴う所要の改正のため、国
民健康保険税条例を改正し
ました。

(全員賛成)

●住民基本台帳カードの発
行手数料として500円かかる
等のため、手数料条例を改
正しました。

(賛成14人)(反対3人)

選任

青少年問題協議会
委員に

夷藤 満 議員



反対

討論

(水口裕子議員)

住民基本台帳ネットワ
ークは、個人の意志を無
視し国が国民に11桁の
番号を付けて、一元管理
するものである。個人情
報保護の観点から参加は
やめるべきで、住基カー
ドが将来的に、どのよう
に使われていくか不透明
だ。また、カードの原価
が高く、発行枚数が増え
れば町の負担が増え赤字
になる。以上により反対
する。

国へ意見書を提出

「三位一体の改革」の早期実現に関する意見書

国から地方への税源委譲を機軸に、国庫補助負
担金を廃止・縮減し、地方交付税については、地
方公共団体が標準的な水準を確保できるための財
源保障は国の責務であるとの観点から地方交付税
制度を堅持する立場に立ち、三位一体の改革を早
期に実現するよう強く要望する。

道路整備促進に関する意見書

国土の均衡ある発展と活力ある地域づくりを一
層推進するため、高規格幹線道路をはじめ、町村
道に至るまでの道路網の整備に、「社会資本整備
重点計画」に即した整備費を確保し、安全で快適
な道路環境づくりを推進せよ。



待ち望まれる4車線化(内灘湊大橋)

あなたの請願・陳情は

1件を採択、4件を継続審査としました。

採択したもの

- 義務教育費国庫負担制度と教育予算について

継続審査としたもの

- 政府に対する非核三原則の法制化を求める意見書採択についての請願
- 教育基本法の「改正」に反する国への意見書の提出を求める請願書
- 政府に「平和の意見書」の提出を求める陳情書
- 教育基本法について

特別委員会、開発特別委員会の 9名の委員が選任されました。

河北潟環境対策特別委員会

審議内容

6月16日に委員会が設置され、第1回の委員会が24日に開催されました。

河北潟という非常に大きなテーマであるため、短期的なものから長期的なものまで、計画的に取り組む必要があります。

内灘町単独では実現できない大きな予算を伴う事業であり、土木、農業、環境といった幅広い分野が対象となってきます。

河北潟を取り巻く金沢市および河北5町、さらに県、国と連携しながら推進しなければなりません。

今回は、短期から中期的なものとして、西部承水路の水質浄化と大野川周辺の雨水排水問題について、現状と今後の課題について審議がされました。

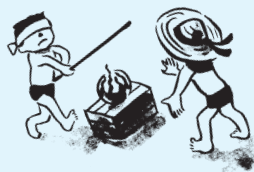
委員長	米田 満	委員	八田外茂男
副委員長	中居 治	委員	清水 文雄
委員	堂下 清孝	委員	北川 進
委員	黒田 泰三	委員	夷藤 満
委員	南 守雄		

◎河北潟環境対策特別委員会は、次の事項について調査します。

- (1) 河北潟及び西部承水路の水質浄化について
- (2) 河北潟及び大野川周辺の浸水対策について
- (3) 河北潟干拓地内の環境保全について
- (4) 汚水及び雨水排水計画等について



よみがえれ 河北潟(昭和30年当時) 写真提供 中村幸次郎氏



6月議会で、新たに河北潟環境対策 2特別委員会が設置され、それぞれ

開発特別委員会

委員長	野村 輝久	委員	中川 達
副委員長	水口 裕子	委員	渡辺 旺
委員	重原 義之	委員	能村 憲治
委員	田中 祥次	委員	小谷 一也
委員	中村 哲彦		

◎開発特別委員会は、次の事項について調査します。

- (1) 都市計画街路等の根幹的道路網の整備について
- (2) 大規模開発計画について
- (3) 土地利用計画について



アカシア向栗崎2号線を現地視察する委員

審議内容

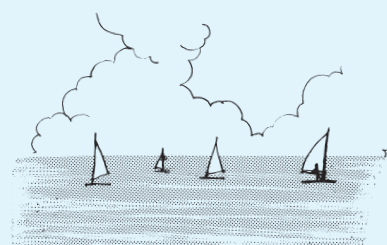
開発特別委員会に付託された調査事項は、都市計画街路等の整備、大規模開発計画など大きな事業です。

6月24日に開催された委員会では、アカシア向栗崎2号線道路整備、^{れんこなぎさ}蓮湖渚公園整備、北部地区土地区画整理の3事業について現地視察を実施しました。

都市計画街路は、現在約5千500mが未整備であり用地取得が難航している状況です。

蓮湖渚公園整備事業についても1件の未買収があります。

今後は、これらの問題について継続して審議されることになりました。



常任委員会レポート

各常任委員会では、新体制の委員会でご所管の施設等を視察しました。

総務常任委員会



防火体制を重点に

Q 防災職員参集訓練では、自家用車も使用しているが、職員初動マニュアルでは参集の原則は徒歩と記載されており、訓練はマニュアル通りに実施すべきでないか。

文教福祉常任委員会

職員体制の充実

Q 児童館の職員体制について、職員一人体制の児童館があるが、病気等の場合は、どのような勤務体制となるのか。

A 他の児童館で、職員が複数体制で行っている所があるので、臨時的に職員を派遣し、児童保育を行っている。

Q 霊園の永代使用料については、当初の金額と現在の金額で差が出ているが、その差額の用途について聞きたい。

A その年度において、差額等で余剰金があれば、基金として積立し、次年度以降の事業費に充てる。

Q スポーツ活動活性化支援補助金、読書活動推進事業補助金について、大根布小学校、清湖小学校だけが対象なのはなぜか。

産業建設常任委員会



おいしい水の供給

Q 向陽台浄水場において、水質浄化のため膜ろ過の実験をしている。

A 今回の防災職員参集訓練は、初めての参集訓練ということで連絡してからどれだけ早く参集できるのかの確認を目的とした。今回で終わりではなく、次回の参集訓練の時にはマニュアルに添った訓練を実施したい。

Q 傾いている消防庁舎について、昨今の地震発生等の状況から見ても、救助に向かうべき消防職員が逆に救助されるような消防庁舎にしているのはいかかなものか、財政面等いろいろ問題があると思うがどのように考えているのか。また、新消防庁舎建設の場合には、どれだけの規模で建設費はいくらになるか。

A 人命救助を使命とする消防の任務遂行の観点からも、現消防庁舎では大規模な地震があった場合には心配である。昨年度から改築あるいは移転新築に向けて、2千5百万円を基金に積む予算を計上しており、現在事業計画の中で移転候補地を含め検討している。規模は約2千㎡で建設費は約6億円と見積もっている。

Q 入札について、3月いっぱいまで新システムを考えて行くと言ったが、どのようなになったか。

A 昨年度から試行的に5百万円以上の予定価格を公表しており、14年度については公表前の予定価格から見ると落札率は若干減少している。一番の問題は談合を防止することであり、公正取引委員会の指摘を受けた場合に罰金、損害賠償的なものも組み入れるなど、もう少し検討を重ねて行きたい。



A 県からそれぞれ1町1校の指定があったため。毎年各小学校を順次、指定している。

Q 中学校の2校化の問題が、一般質問でもされたが、町長の思いは。

A 現在の建物は昭和36年に建設されたもので、増改築を先に考えなければならぬと思っている。しかし、国庫の補助率等の関係もあるので新築、増改築の選択は、国の動向を見極め、対応していきたい。

別のところで、実験して鶴ヶ丘浄水場を持って行って大丈夫なのか。しっかりと見定めてもらいたい。

A 水質において、大差はないと考えている。経費も勘案して、現在稼働している現水で調査している。

Q 下水道事業団が設計して、その工事を受託するやり方は、それでよいのか。

A 下水道事業団は全国的に事業を展開しており、ノウハウを持っている。もう少し検討させてほしい。

Q 公共下水道が室地区まで完成するには、あと何年かかるのか。

A 完成は平成17年度と見込んでいる。

Q 蓮湖渚公園れんこすわの用地取得の現状は、どうなっているのか。

A 未買収はあと1名となっている。今後とも取得に向け努力していく。

Q 耕畜連携土づくりモデル事業からバイオマス利活用フロントティア推進事業へ変更したのはなぜか。

A より事業にマッチした、国の補助事業へ変更したため。

質問

8人が
登壇



渡辺 旺 議員

中高一貫教育を 県に働きかけよ

渡辺旺議員 内灘高校に併設型の中学校、高等学校の一貫教育を導入するよう石川県に働きかけよ。また、他ではどこにもないような砂丘文学や体育科コース、いわゆる文武両道の教育を

取り入れるなどの考えはないか。

将来内灘町の次世代を担う青少年が根づく町になるように、併設型の中高一貫教育の実現を目指せ。

動向を見据え検討

教育長 時代の変化に対応した魅力ある学校づくりを進めることを基本目標として、既存の連携型や新設予

定の併設型の中高一貫教育の動向を見据えたくえて本町のとるべき道を検討したい。



冬の河北潟

河北潟の 浄化を図れ

渡辺 河北潟の干拓地をもう一度、潟に戻し防潮水門を外して満潮、干潮の海水を迎え入れ、自然浄化を再現したらどうか。

昔のような水浴びができる潟を取り戻すためには、

町と町民が力を合わせ、県や県に真剣に考えるように、強く働きかける必要があるのではないか。

潟は町の大きな財産

町長 潟は内灘町の風土を育んできた大きな財産。

水質浄化は、なかなか一朝一夕にいく問題ではないので、今からアクションを

起こし、我々の子供や孫の時代に何とかしていきたい。

今まで以上に国や県へ積極的に働きかけていく。

渡辺 役場内に記者室を設け、速やかな情報提供をできるようにせよ。

渡辺 大根布線を延伸し、大根布地区で新たな架橋が必要でないか。

総務部長 多くのマスコミの利用は見込まれず、現状では考えていない。

町長 橋を造るのは、今の段階では非常に難しい状況である。



夷藤 満 議員

出産一時金の増額を

夷藤 満議員 国民健康保険の出産一時金は、法定給付額30万円に、各市町村事業の財政状況に応じて付加給付を上乘せできることとされている。

当町の付加給付は1万2千円で、法定給付額と合わせて31万2千円となる。河北郡の他町は33万円支給されているが、どうしてこのような差が生じるのか。

保険税額 見直し時に検討

町民部長 河北郡内では一番低い金額となっているが、県内市町村では中の上位とすることで、全県的に見た

場合決して低い額ではない。引き上げについては、保険税額の見直しの時期にあわせて検討する。

危険箇所を調査せよ

夷藤 交通量が増えた今、子供たちが通園、通学する周辺だけでなく、一般の人やお年寄りまで安心して、道路を横断できるように、危険箇所、横断のしにくい場所等を調査し、横断歩道の設置箇所を増やせ。また、横断歩道や道路の

線の消えかかった箇所の引き直しをせよ。



子供たちに安全を

安全最優先

総務部長 横断歩道の新設や信号機の設置を津幡警察署へ要望している。区画線については交通安全上必要と思われる箇所を優先し引き直している。

夷藤 交通安全教育指導をして、交通安全の大切さや交通事故の防止の徹底を。

総務部長 体験型の交通安全教室を実施している。

夷藤 シルバーゾーンの設置箇所を、ホームページや広報誌等に掲載せよ。

総務部長 掲載については検討する。

夷藤 ホテイアオイで実験している水質浄化施設は、河北潟で利用できるか。

町長 ホテイアオイは後の処理が難しく研究結果を待ってみないとわからない。

夷藤 生活排水対策はどのような状況であるのか。

町民部長 下水道普及率97%と下水道の整備に力を注いでいる。

夷藤 ヘド口の処分について、町の対策を示せ。

町民部長 町独自で、ヘド口の調査は実施していない。

夷藤 河北潟浄化の取り組み、関係市町村との連携をどのように進めていくのか。

町長 河北5町と金沢市を入れて水質浄化協議会の発足を予定している。



小谷 一也 議員

今後どうなる 大京開発

小谷一也議員 コンフォモール内灘の工期は平成17年5月31日となっているが、ここ数年何ら変わらない状況である。

先人たちが苦勞して残してくれた財産であるアカシア林帯を伐採し、10年以上経過しているが、この計画はどうなっているか。



進まぬ開発

期待をもって

見守っている

助役 コンフォモール内灘を取り巻く状況は、大変厳しい状況だが、周辺の土地利用も進み、進出を考えている企業にとって、魅力的な立地条件になってきている。

大京が現在進めている交渉に町として大きな期待をもって見守っている。

小谷 役場職員の駐車場使用料が他と比べ高いが、見直す気はないか。

総務部長 近隣の料金に合わせたもので、見直しは考えていない。

小谷 鶴ヶ丘東地内の側溝が非常に危険で安全を考えふたつきの側溝にせよ。

産業建設部長 厳しい財政状況の中で、要望と実情を勘案し、対応したい。

遊歩道に果樹の植樹

小谷 林帯遊歩道は、安らぎを感じる憩いの空間である。

この林帯遊歩道を散策して思いついたことに、果実のなる木が見当たらない。

この際、このような木も植樹して、子供たちに学校での教育の場だけではなく家庭でも教育の場として取り入れ広く活用せよ。

活用を練りたい

町長 この遊歩道は町民の皆さんに非常に重宝がられている。

またコミュニケーションを図る場として、多くの人が利用する場所であり植樹を含めてさらに活用を練りたい。



能村 憲治 議員



待ち望まれる定期券

助成金を給付せよ

能村憲治議員 身体障害者施策と介護保険制度の仕組みの違いから、要介護認定者で身体に障害がなければ障害者手帳を取得できない。町として要介護認定者のうち障害者控除を受けられない人に対して町民税を減免する条例、または助成金の制度を作れ。

減免制度は難しい

総務部長 住民税の減免については、納税者が納付困難となった場合に、他の納税者との均衡を失わないよう執行している。単に介護は難しい。

保険の要介護認定者でありながら障害者控除が受けられないということのみを理由に減免制度を設けることは難しい。

内灘砂丘からごみをなくせ

能村 内灘海岸、砂丘からゴミをなくすることを目指し、行政と住民が一体となり、地域住民が自由かつ自発的に参加できる場を設け、町を挙げて取り組む時期に来ている。町が中心となって住民、ボランティアグループ、関係団体などが参加した委員会を設置せよ。

組織づくりを研究

産業建設部長 海岸清掃については、町民一斉による海浜美化清掃等を行っており、他にボランティア団体も参加している。委員会の組織づくりについては町ボランティアセンターと相談し組織づくりについて研究してみる。

能村 海岸の管理は県であり、県への補助金の要求はできないのか。

産業建設部長 県に清掃活動に対し助成の要望をする。

能村 屋内温水プールの利用回数が多い人のため、定期券を発行してはどうか。

教育長 利用者の負担軽減のためにも調査検討する。

能村 町は観光に対して、今までどのような活動をしてきたか。

産業建設部長 現在のところ観光面での活動は少ないのが現状である。



水口 裕子 議員

子育て支援

水口裕子議員 子育てをすすめる女性に、子供は地域の宝と言われているが、本当にそうだろうか。

金沢市や羽咋市等で病児・病後児の保育を民間の

病院に付属した保育所に委託して実施している。

内灘町でも金沢医科大学と協議し、医科大の保育所に委託の道を開き、女性の社会参画のためにも進めよ。

今後の研究課題

町民部長 病児・病後児の保育については、国の支援エンゼルプランでも位置づけられた施策である。今後の研究課題として。



親子で楽しく

情報公開条例の策定状況

水口 情報公開条例の策定作業は、どこまで進んでいるか。住民からの申し入れは、どのような扱いか。公開する側の一方的な制

度にならないように、情報を公開するための委員会が非公開なものかどうかと思う。情報公開条例の策定作業の中間報告をせよ。

策定状況

水口 小学校低学年から少人数学級を導入し、子供たちの教育環境を整えよ。

教育長 県の支援講師の制度を活用し、当分は少人数学級は考えていない。

水口 エコスクールについて尋ねたが、その後の検討状況はどうか。

町長 懇話会は、7回の審議をもって閉会している。現在、懇話会からの提言を参考に、条例の素案づくりに取りかかっている。したがって、現時点では町民の皆様へお知らせする段階に至っていない。

水口 働く人たちのためにも保育所、学童保育の時間を延長せよ。

町民部長 職員の勤務対応、また職員の増員等も考えられるので、今後検討する。

水口 学童保育の指導員の研修体制と今後の方針は、どうなっているか。

町民部長 指導員の研修は、県の研修会等に参加し、今後も研修させていく。

条例の素案づくりの段階

水口 委託料でシステム変更し、アクセスログ(履歴)が取れるようにせよ。

水口 情報の漏えいが心配であり、個人情報保護条例の策定を急ぐべきだ。

町民部長 機械的にも情報公開条例がないとできない。

町長 個人情報保護を目的とし、情報セキュリティ対策を徹底させる。



北川 進 議員

町章とコミュニケーション マークの使い分け

北川進議員 町より発行されるパンフレット等に、ほとんど町章が記載されていない。
町章とコミュニケーションマークの使用マニュアルがあるのか、ないのなら使用マニュアルを作成したらどうか。

使い分けを検討したい

町長 コミュニケーションマークは、町章とは別に新しい内灘町のイメージをアピールするために決めたもの。
使用マニュアルはないが、町章の掲示だけでなく、町章とコミュニケーションマークの使い分けも検討したい。

北川 行政のシンボルである庁舎に町章があってもよいと思うが、その考えは。
町長 検討課題として考えていきたい。

防災対策は充分か

北川 政府の地震調査委員会の報告によると、森本・富樫断層がいったん活動すれば、阪神大震災のような都市直下型の震災になる。
防災対策は十分なのか。町民に対する防災意識の普及に努めているか。
また、各町会の自主防災組織の結成状況は。

関係機関と連携した 訓練を検討

助役 警察、病院、地域の防災関係機関と連携した訓練を検討したい。
今年度、「大規模災害に備えての心がまえ」、「自主防災組織を結成しよう」といった内容の防災パンフレットを作成する。
防災組織は、5町会で結成されている。

北川 自主防災組織に指導、援助を行っているか。

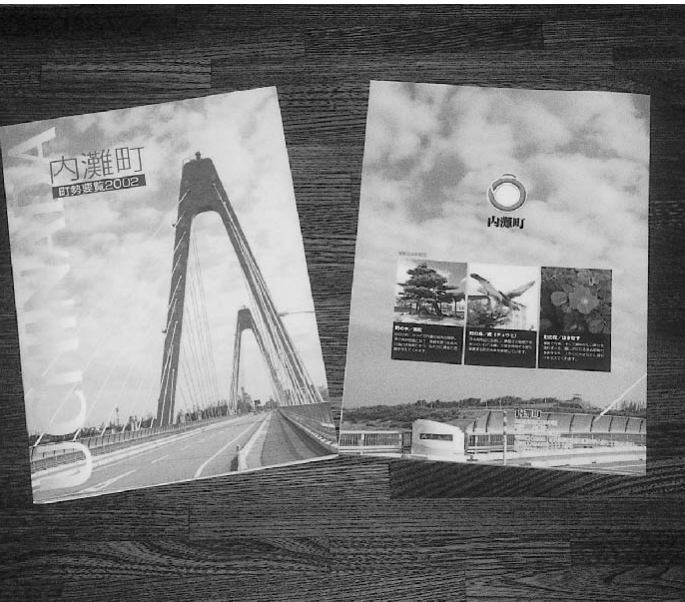
助役 指導、援助等は必要で、資機材等整備費補助金を交付している。

北川 ハマナス緑地へ渡る横断歩道を、両端と中に1、2カ所程設置せよ。

総務部長 横断歩道の設置は、津幡警察署に要望している。早期設置に努力する。

北川 東京ストア前のバス停をもう少し南側に移動し、危険防止の処置をせよ。

総務部長 関係機関と検討を進めて行く。



町章が記載されている町勢要覧



堂下 清孝 議員

掲げた公約に
全力をつくす、支援を

堂下清孝議員 内灘中学校の2校化、少人数学級の実施、全小学校に図書館司書の配置など、ゆとりある教育の実現。雇用を保障し、地元業者を守り、情報公開制度の早期制定。

医療費負担を2割に戻し、子供の医療費助成を小学校卒業まで。介護保険では低所得者の減免など、その実現のため取り組んでいきたいが、町長の考えは。

公平な行政運営に
努める

町長 現実的には極めて困難な問題もある。

限られた財源の中で、いろいろな視点から考察、考察をし、公平な行政運営に努めるのが責務であると考えている。

就職活動に
一部屋確保

堂下 就職活動の場合は、鳴和と津幡にハローワークがあるが、遠く不便な所であり、役場1階のロビーにパソコンが設置された。

検索中は誰にでも見られるという状況である。1部屋確保し、気兼ねなく就職活動ができるようにせよ。



パソコンで就職活動

さらに
検討したい

助役 仕切られた部屋でのパソコンの設置は、求人情報だけの利用とは必ずしもならないと考えられる。

個室のなとくに設置することが、利用者の利便のためにいいのかも含め、設置場所について、さらに検討したい。

堂下 酸素療法者が安心して治療できるように、電気料等の助成をせよ。

町民部長 障害者への総合的な福祉施策として、研究していきたい。

堂下 医科大通り周辺の大気汚染状況を定期的に測定し、公表せよ。

町民部長 現在の交通量では、環境基準を下回っており、定期的な観測は難しい。

堂下 有事関連法案が成立したが、地方自治体を担う町長の見解を伺いたい。

町長 国民に安心感を与えられるような法整備の実現を願っている。



清水 文雄 議員

職員倫理規程を 制定せよ

清水文雄議員 誠実かつ公正に議員活動に取り組むことを目的に、議員倫理条例が制定された。
クリーンで公正な町政を進めていく必要がある。

今のところ考えはない

町長 全職員が常に公務員としての行動ルール、あるいは公正公平に遵守していることを認めている。
また、議会や町民の皆様からも厳しい目で、チェックされていると思っている。
本町において、今のところ職員倫理の規定をする考えはない。



庁舎内でのケーブルテレビ

ケーブルテレビの活用

清水 町政、議会に関心の薄い人たちにもケーブルテレビを通じて町政に町民の参加ができる町づくりが果たせると思う。
開かれた町づくりの一環として、ケーブルテレビを活用し、ぜひとも早急に議会の放送を取り入れるべきだ。

清水 夕陽ヶ丘苑の施設長人事は、天下りという声だ
が。

町長 管理能力もあり、わずかな報酬で選任した。

清水 内灘高校を中高一貫教育校への働きかけを県に
対して、強力に推し進めよ。

教育長 研究校の成り行き
等を検証し、メリット、デメリットを見極めたい。

現時点では 時期尚早

総務部長 昨年度幹線ケーブル網の整備を行った。
将来的には、ケーブルテレビが全世帯に普及して全市町村が独自のチャンネルを
設けて、行政放送を行う時代も遠い先ではないと思う
が、現時点では時期尚早という考えである。

あなたも議会を 傍聴しませんか？

次の議会定例会は9月です。
日程など詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。
内灘町議会事務局 TEL 286 - 6715



今後に期待

中川 達 議長

河北郡町村議会議長会の会長に就任
河北郡地方税整理組合の議長に就任

中居 治 議員

河北郡広域事務組合議会の議長に就任

南 守雄 監査委員

石川県市町村監査委員協議会の副会長に就任

県の町村会長に岩本町長

平成15年度石川県町村定期総会において、岩本秀雄町長が第17代石川県町村会長に就任されました。お祝い申し上げます。(議員一同)

前崎隆夫氏、中村銑司氏、古村生亥氏、高本武雄氏におかれましては、長年にわたり議会活動に携わり、地方自治の振興と町民福祉の向上に多大なる貢献をされました。紙面を借りてお礼申し上げます。



高本 武雄氏



古村 生亥氏



中村 銑司氏



前崎 隆夫氏

ごくろうさまでした

編集感

議会の組織が改選され初めての議会定例会を終えました。

新メンバーになって2作目の議会だよりとなり、まだまだ試行錯誤が続くようではありますが、新しい感性で議会だよりづくりに取り組みたいと思います。

新メンバー1作目となりました、前回の臨時号より、何年かぶりに表紙に内灘町の町章を入れてみました。うの文字を図案化したものが町章で、カモメのマークはコミュニケーションマークです。

これからも一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひ致します。

(K)